

第14回辻堂市民センター・公民館建設検討委員会 議事概要

開催場所： 辻堂市民センター 第1会議室

日 時： 平成28年12月9日（金曜日）

午後1時30分～5時10分

出席

委員

松本喜夫（辻堂地区自治会長・町内会長連絡協議会）

関岡壽夫（辻堂まちづくり会議）

小川雄二郎（辻堂地区防災協議会）

野中富央（辻堂地区社会福祉協議会）

松原和憲（建設地近隣町内会代表（県公社辻堂西海岸自治会））

金子節子（辻堂公民館評議員会）

池田 潔（辻堂市民センター）

林 宏和（市民自治推進課）

村田裕治（生涯学習総務課）

饗庭寛子（総合市民図書館）

守屋文雄（総合市民図書館）

黒澤卓司（高齢者支援課）

斎藤 康（福祉総務課）

三橋計三（消防総務課）

鈴木真也（消防総務課）

事務局

大岡誉和（市民自治推進課）

柏崎浩通（市民自治推進課）

鈴木優司（辻堂市民センター）

その他

岡 健志（公共建築課）

塩野充彦（公共建築課）

椎谷権行（公共建築課）

山口秀俊（学校施設課）

木下尊人（学校施設課）

斎藤啓介（国設計）

小坂貴志（国設計）

鈴木桂介（国設計）

欠席

教育総務課

配布資料

1. 次第
2. 前回の検討事項等の確認...資料
3. 平面検討図（各階）...資料1 平面計画資料の要旨（前回案からの修正点・その他）
4. 辻堂市民センター・公民館第2回「こっしょう！あっしょう！会議」～建て替えに向けた意見交換会～ 結果報告
辻堂市民センター・公民館等再整備 職員アンケート 結果報告
辻堂市民センター・公民館「こっしょう！あっしょう！会議」意見交換後に、寄せられたご意見

【閲覧用】

注) (地域委員)は地域代表等委員、(市委員)は市関係課委員、(事務局)は検討委員会事務局、(その他)は公共建築課、設計会社等

1 開会

2 議題

(1) 前回の検討事項等の確認について

(事務局) 配布資料説明

・ 前回検討事項の確認

・ 11/28 の委員間意見交換の検討案に対する課題検討の報告

1F 図書室と地域交流スペースの連携について、本は貸出手続きをした後に図書室から持ち出した方がよいとの意見が多く、仕切りはあってもよい。図書室と廊下の間は、低書棚で区切り、その上部は空間かガラスにして、開放的な視覚にする。

2F 諸室の整理を行い、談話室1室と工作室1室の機能を合わせ、工作室兼談話室1室とする。倉庫を設ける。談話室の面積に大小の差を設け、利便性を高める。

2F 西側テラスは、目隠し等設置し、周辺住宅への配慮を行う。

3F ホールは、2F 体育室に空調があれば、200人定員から減とする変更でも良い。

外構 原付バイク15台分を建物東側に配置、自転車は72台分を目標とする。

< 談話室間の間仕切り >

(地域委員) 談話室間の壁は、固定の壁か。

(事務局) 固定の場合、大きな会議スペースが不足するため、可動間仕切りにしている。

(地域委員) 遮音性能があれば可動間仕切りも可。

(地域委員) 約50人を超える募集人数の講座もある。

(市委員) 新たに出来るホールも大人数で利用可能。広い会議室は、行政関係での使用も多い。

(地域委員) 自治会の総会など地域団体の会議のため広い会議室も必要。

(まとめ)

間仕切りの遮音性を高くし、可動式とする。

< 避難路 >

(地域委員) 市民センターから消防屋上へ避難する場合、1階に下りて消防外階段に行くことは無理ではないか。

(その他) 津波用避難スペースからも消防屋上へ避難できる。

(2) 外部計画について

(その他) 平面検討図(各階)...資料1及び平面計画資料の要旨(前回案からの修正点・その他)計画案のとおり説明

< 南側道路 >

(地域委員) 東側道路からセンター駐車場出入口までは、道路幅を広くして対面通行とし、以降西側は今の道路幅のまま一方通行とするのはどうか。

(事務局) 道路の途中で通行形態を変えられるかは、警察との協議による。

(地域委員) 歩道状空地を通行する高浜中学校生徒への安全対策はどのように考えるか。

【閲覧用】

(市委員) テニスコートへの経路は、基本構想時から歩道上空地利用を計画しており、北側スロープ脇の通路を通れば駐車場出入口との交錯はなくなり、安全性が高まる。

(まとめ)

一方通行の切り替え等について、今後警察と協議を進める。

<避難用スロープ>

(地域委員) 車通行出来ない幅となったが、基本構想の機能は保てるか。

(その他) スロープは、幅2m程度、勾配1/12、踊場付とし、日常の荷物の搬出入はエレベーターとする。

(事務局) スロープと建物の間隔を取り、幅を狭くして歩行者及び車いす通行とし、建物の環境向上を図った。

(市委員) 福祉避難所のあり方としては、津波等災害発生後の一時避難所として位置付けになるため、車で2階に行くことは想定していない。

(地域委員) 全体のバランスで考えれば、スロープは検討案が良い。

(まとめ)

避難用スロープは、幅2m程度、勾配1/12、踊場付で、車いす及び人の通行を主とした仕様とする。

<敷地内通路>

(事務局) 駐車場の回転スペースにも、テニスコートから市民センターへの経路を設置したい。

(その他) 可能である。コートと市民センター間を通行する車は公用車に限られるが、さらに安全性は図りたい。

(市委員) 公民館まつりで駐車場を利用する際は、建物出入りは西側玄関のみとなり狭い。西側にもう1箇所出入口があった方が駐車場にスムーズに行けるのではないか。

(その他) 階段室脇に扉を設けることはできるが、防火区画であることの考慮は必要。

(まとめ)

歩行者の安全と駐車場利用の利便性を考慮して、西側入口の配置について次回までに検討する。

(3) 諸室の配置平面計画について

(その他) 平面検討図(各階)...資料1及び平面計画資料の要旨(前回案からの修正点・その他)計画案のとおり説明

<図書室・地域交流スペース>

(市委員) 図書室面積が当初予定160㎡から148㎡に小さくなっているが、整形であれば使いやすい。

図書室と地域交流スペースとの境界は、全てオープンでは貸出等の対応が難しいため、低書架とドアで分けてはどうか。図書室とロビーの境界も、見通しをよくしたい。

地域交流スペースには、テーブル、椅子を置けば、借りた本の閲覧スペースにできる。

(地域委員) 図書室と地域交流スペースの間の壁は、ふるさとマップの掲示をしたい。

(地域委員) 現図書室より約60㎡増えた面積の使い方は?

(市委員) 車いす通行可能な書架間通路とし、低書架で蔵書数を確保し、バックヤードスペースを確保したい。

(地域委員) 地域交流スペースの中に本があるコンセプトにすることはできないか。

(地域委員) 地域交流スペースにも管理者がいれば良いのでは。

(市委員) 連携を図りたい。図書室職員が2名なので、図書室と地域交流スペース両方管理するのは難しい。

(地域委員) 茅ヶ崎市松波コミュニティセンターのようにしたい。図書室がふれあいの場になれば良い。

(まとめ)

図書室と地域交流スペースの連携については、次回以降も検討する。

【閲覧用】

<地域包括支援センター、地区ボランティアセンター>

- (市委員) 地域包括支援センターは、相談室と連携利用しやすく、ボランティアセンターと近い位置が良い。
- (その他) 相談室は事務室と包括支援センターの間の位置がよい。地域包括支援センターと福祉窓口のワンストップサービスしやすい配置にしている。
- (地域委員) 地域包括支援センターは86㎡必要か。事務室の隣や1階にある必要はあるか。
- (市委員) 将来の運営や業務方法等の変化を考慮しての大きさである。高齢者利用も多く、利便性から1階が良い。
- (事務局) 事務室と地域包括支援センターは行政窓口であり、隣り合うことで将来にも可変性が高くなる。ボランティアセンターは、地域の方々で運営する施設のため、2つの間にない方がよい。
- (市委員) 地域包括支援センター、福祉窓口の位置は、優先順位を決めて配置したい。

(まとめ)

地域包括支援センター、ボランティアセンターの配置は、次回までに検討する。

<印刷室>

- (地域委員) 印刷室からの音に配慮が必要。
- (市委員) 2階にあるセンターもある。

(まとめ)

事務室からは離し、西側出入口近くに配置する。

<2階諸室の北側と南側の配置>

- (地域委員) 北側外観のイメージは。
- (その他) 北側住宅への視線に配慮し、窓の大きさ、ガラスの種類や視線制御のルーバーの設置等検討する。
- (市委員) 倉庫と音楽室を北側とし、談話室2室を南側とするのが良い。工作室、実習室は南側が良い。
- (その他) 音楽室は、北側にした場合、近隣への影響があるのでは。
- (その他) 防音のグレードによるが、音の問題は対応が難しいため、音楽室は南側にある方が良い。

(まとめ)

実習室、音楽室、談話室は南側とし、工作室兼談話室、倉庫は北側とする。

<ホール>

- (地域委員) 3階ホール控室は前室タイプではなく、部屋としてほしい。また舞台奥行は5mでは狭いのでは。
- (地域委員) 現案舞台の大きさは、現辻堂市民センターと同程度である。
- (地域委員) ホールの収容人員は、座って150人は多くないか。
- (地域委員) 現状100人で不足のため、150人は必要である。

(まとめ)

舞台は固定式、収容人員は座って150人程度、ホール控室は通路と一体ではなく個室とする。

<3階廊下と東側階段>

- (その他) 3階ホールからの避難路を建物南側に配置したので、東側の2階から3階に通じる階段、東側階段からの廊下をなくし、ホール面積を広げた。
- (事務局) 2階から3階への東側階段、3階ホール周りの廊下がなくなっていることは問題ないか。
- (地域委員) 問題ない。

(まとめ)

建物東側の2階から3階への階段とホール周りの廊下をなくす。

【閲覧用】

<その他>

(地域委員) 以下の項目について今後検討したい。

センター、体育室、消防の接続部について確認したい。

井戸や雨水タンクの導入をしたい。

福祉避難所のニーズについて、ニーズを聞ける場を設けた方が良いのでは。

(市委員) 福祉避難所は、あくまで一時避難所として位置付けている。長期間の避難は考慮してない。

(地域委員) 2、3日でもどのような対応が求められるのか、ニーズの確認が必要ではないか。

(市委員) 福祉避難所としての考え方は、福祉総務課と整理する。

3. その他

(事務局) 次回検討委員会は、12月27日 PM13:30 とする。

諸室の配置、意見交換会等意見への対応について、12月13日 PM13:30 に地域委員で課題検討を行う。

閉会